

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	組織・定員の適正な管理			事業番号	40-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	古宮 雄二	経営企画課	成田 勝也	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	40	市民に信頼される市政の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成17年度	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市定員管理計画			計画期間	平成30年度～平成34年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	平成17年度から計画的に定員管理に取り組み、平成28年度まで137人、17%以上の職員数の削減を図り、効率的な執行体制の構築に努めてきました。しかし、人口減少、少子高齢社会の進展や地域経済活性化対策など、本市が喫緊に取り組む必要がある業務も山積してきている状況であり、これらの課題や業務量の増加に的確に対応する必要があります。定員管理面では、類似団体と比較すると定員の適正化は進んでいる状況です。				
目的 (何をどうしたいのか)	総合的な力を発揮できる柔軟で機動力のある組織の構築を進め、定員の適正な管理に取り組みます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市職員並びに行政組織				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の能力を最大限に発揮させ、市の行政執行力を向上させることをめざして組織を整備するとともに、行政課題の変化に応じて組織の効率性・必要性等の点検・見直しを行い、市民生活の変化に即した地域行政の実現を図ります。 ・定員管理計画では、類似団体や県内一般市の職員配置等を参考にしながら、業務別、職種別の適正な定員管理を進めます。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	定員管理計画の改定・運用	計画改定・運用	運用	運用	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	職員数	666人 (平成29年度)	661人	657人	651人



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)				
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	定員管理計画の改定・運用	計画改定・運用		
実施した取組の内容	定員管理計画の改定・運用			
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
	職員数	666人 (平成29年度)	平成30年度 661人	令和元年度

年度	平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績								
	事業費合計 (a)	0	千円	0	千円	0	千円						
内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	0	千円						
	地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円						
	その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円						
	一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	0	千円	0	千円						
国県支出金の内容													
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期								
		その他											
人件費	正規職員	0.19	人	1,617	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.19	人	1,617	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)		1,617		千円	0		千円	0		千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	単位		単位					
		対象数	102,416		人								
	総事業費／対象数	16		円			円	円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	定員管理計画を改定・運用し、計画に掲げた平成30年度目標職員数を達成しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	A	他都市の事業内容等	総務省が実施した地方公共団体定員管理調査の結果、人口一人当たりの職員数を比較すると、本市は全国類似自治体(50団体)の中では平均を下回る一般行政職員数で行政を運営しており高い水準で適正化が図られています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	定員管理計画に基づき適正な定員管理を推進することで、多様化する行政課題や市民ニーズに対応可能な簡素で効率的な組織・人員体制を維持することができました。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	職員の人件費以外に特段の経費を計上することなく、新たな定員管理計画の策定並びに計画に示した取組について効果的に進めることができました。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	今後一層高度・多様化する行政課題の要請に応えるため、限られた職員数を適切に配分し、適正な水準のサービスの提供を維持させていく必要があります。
令和元年度の取組方針		人事所管課との連携を図りながら、定員管理計画に示した行財政運営改善の取組を推進します。		
所管部長による総評		他の自治体と比してもかなり高い水準にまで適正化が進んでいる職員定員について、さらなる適正化を推進していくためには、組織・機構の再編、業務の標準化、ICTの推進、事務事業の見直しなど、定員管理計画に掲げた各種の取組を全庁一丸となって着実に実行していく必要があります。		